

かみや ひろゆき 様 講演会

『深圳から学ぶ』

日時：2019年8月24日（土）18:00 start

会場：東京医科歯科大学

難治疾患研究所（駿河台棟）22号館 1階 第2会議室

問い合わせ先：

日本生体医工学会 若手研究者活動 WG 主催 講演会事業委員長

荒船龍彦 mail: arafune.t@mail.dendai.ac.jp



東京医科歯科大学 難治疾患研究所 22号館

【ご講演 概要】

中国 4 大都市の一つとして数え上げられる深圳市（Shenzhen）. 1980 年代に経済特区に指定されて以来『世界の工場』としてかつてないほどのスピードで発展し、今や世界の IT、金融、バイオテクノロジーの最先端が集約する大都市に成長しました。スクラップ&ビルドによる破壊的な発展は、選択と集中によるイノベーション創出を駆動し、間違いなく今後の医療機器/ヘルスケア産業にとっても大きな影響力をもたらすことは間違いありません。しかしその一方で噂やニュースばかりが先行し、過度の期待、あるいはその逆のネガティブな評判に晒されるなど、具体的な実態が中々伝わってこないのも事実です。

今の鳥取県よりも人口が少なかった都市が、わずか 30 年で東京都に匹敵するまでの成長を遂げました。世界でも類を見ない深圳の"ハチャメチャ"な成長から何を学べるのか。深圳に何度も足を運び、IT 関連のベンチャー起業支援などの活動をされている神谷氏を講師としてお招きし、国内の報道では伝わってこない様々な具体事例を通じて、令和時代の新しいサービス、ソフトウェア、ハードウェアのものづくり、仕組みづくりについて、ご紹介いただきます。

【講師ご学歴】

私立武蔵高等学校 卒業

早稲田大学大学院 理工学研究科 修士課程 卒業

【ご略歴】

ベンチャー企業創業や上場などに携わり、ネット企業の楽天を経て、2007 年に創業期 CTO（最高技術責任者）として新会社の立ち上げ。小規模組織の経験が多いこともあり、得意領域はリソース（人・モノ・金・情報）が無いところから事業を作っていくこと。

社会人になってから兼務で早稲田大学大学院基幹理工学博士後期課程にも入学（研究テーマは機械学習）。まさかこれほど AI ブームが来るとは思っておらず、事業立ち上げに専念するため 6 年の研究を終えて退学。現在は独立し、ベンチャー企業の支援と、自ら中国関連ビジネスを立ち上げ、製造・仕入れ・日中間貿易支援などを行っている。

Facebook: hiroyuki.kamiya

Mail: hiroyuki.kamiya@gmail.com

事前登録、参加費等はございません。

ぜひお時間よろしければいらしてください。学生さんの参加も大歓迎です。